

# 広報まがりや 第55号・復刊第2号

令和2年9月号 発行 岩手南部森林管理署遠野支署

ふるさとを汚すごみを回収

の森林で実施しました。

遠野支署では、山や森に捨てられたゴミを撤去する不法投棄物クリーン活動を7月17日に遠野市内

行っており、森林ボランティア、遠野消防署、遠野地方森林組合、岩手県、遠野市など総勢47名が参加しました。

## 不法投棄物クリーン活動 (7/17)

蒸し暑い中で参加者は、ふるさとと遠野の自然と景観を守るために協力し、建築廃材や廃タイヤなど1トンを超えるごみを回収しました。中には継続的に投棄されている箇所もあることから、関係機関と連携し、監視の強化など不法投棄対策に取り組んでまいります。

## 森林鉄道学習会

7月15日と16日の夜、遠野の森林鉄道の学習会が遠野市内で開催されました。これは遠野文化友の会が主催したもので、野木宏祐支署長が講師を務め研究成果を報

告しました。

遠野の森林鉄道・附馬牛軌道は、昭和4年(1929)から昭和30年代半ばにかけて運行され、川流しによる木材輸送を近代化するとともに、昭和恐慌における経済対策の一環として、当時の遠野町に設置した官営製材工場でフローリング等に加工するブナなどの奥地天然林資源を輸送するために建設されたこと、昭和23年(1948)のアイオン台風の被害により現在の材木町から附馬牛町上柳の区間が廃止されたこと、戦後は、猿ヶ石川上流に建設された支線を中心とする運行となり、昭和33年頃にはトラック輸送の発達により運行を停止したことなどを解説しました。

さらに、青森営林局が撮影したアイオン台風による生々しい被害や、現在も残る森林鉄道の遺構の写真、空中写真から判読した路線図などを上映したほか、当時を知る市民から聞き取った話として、隣村の女性が嫁いでくる際に徒歩

で峠を越えてから森林鉄道で下ってきたことや、森林鉄道に乗って早池峯神社の祭礼に行ったことなどを紹介しました。



森林鉄道学習会の様子

## 田瀬湖畔の森を探検

7月23日、遠野市内の田瀬湖畔で「田瀬湖探検隊」が開催されました。この探検隊は、「森と湖に親



田瀬湖探検隊 (7/23) スリングショット

しむ句間」に国土交通省田瀬ダム管理支所と遠野支署が毎年共同で開催しており、親子連れなど約50人が野外活動を楽しみました。

このうち森林探検では、特徴のある木の葉を手かがかりにチェックポイントを探して、そこに設置された「的(まと)」に、手づくりのスリングショットで弾を当てるゲームを楽しんだほか、竹で水鉄砲を作ったり、木を投げ合うゲーム「クツブ」を体験したりするなど、子供達は、大きな歓声をあげ



田瀬湖探検隊 (7/23) 竹筒の水鉄砲づくり

て探検隊を満喫していました。この探検隊を通じて、猿ヶ石川の流域の皆さんに田瀬湖周辺地域への理解を深めてほしいと思います。

**土淵児童クラブ森林教室**

8月5日、遠野三山の一つ六甲牛山の登山道で森林教室が行われました。これは遠野市の「とおの里山美林推進事業」の一環として開催されたもので、土淵児童クラブの児童26人が参加し、遠野支署



土淵児童クラブ 六角牛山 (8/5)

の職員が案内役を務めました。はじめに、6年生の児童が語り部となって遠野三山の女神伝説を披露したほか、支署長から「六甲牛山には里の人をさらう山男の伝説があります。登山道から離れて山男にさらわれないように。」と注意があり、児童たちはワクワクして出発しました。森の中では、見つけた動植物でビンゴカードを埋めていくゲームが行われ、夢中になってカエルやイモリ、特徴のある木の葉やキノコなどを見つけていき



土淵児童クラブ 木の葉のパウチづくり (8/18)

ました。  
帰り道では、後日、木の葉のパウチをつくるため、お気に入りの木の葉を探し集めて山を下りました。とても暑い一日でしたが森の中は涼しく、児童たちは深い森を体感して満足した様子でした。